



その生き方のそばに、京急

# 京急創立120周年

その日々、歴史をつくってきた。これからの日々は、未来をつつていく。  
笑顔も、喜びも、何もない日常の風景も、  
賑わいある暮らしの中に貫いてきた京急のレール。  
それは別と変わらぬまま、そしていつも、たくさんの生き方のそばにある。  
道標の多様で魅力的なライフスタイルに寄り添い、  
かけがえのない日々を重ねて、京急は創立120周年、そして未来へ。

1898-2018

KEIKYU  
京急グループ

これからもたくさんの笑顔に乗せて。

かけがえのない  
120周年、  
そして未来へ。

新たな始まりでもある  
新しい





# 京浜の歴史

創立から現在まで。

京浜の歴史

創設期 1898～ 開業期 1904

## 創立そして開業

1898(明治31年)12月1日、東京(有明)と横浜(磯子)の間、日本初の私鉄として京浜東北線が開業した。この路線は、日本の近代化を支える重要な交通手段となり、その後、路線が延伸され、現在に至るまで、京浜東北線は、日本の主要な鉄道路線の一つとして、多くの人々の生活を支えている。

京浜120年の歩み

京浜の歴史

開業期 1904～

## 京浜間の全通と軌間変更

1905(明治36年)12月24日、京浜東北線の延伸(大宮)が完了し、全線が開業した。この延伸により、現在の京浜東北線の全線が開業した。また、この延伸の際には、軌間変更が行われ、現在の標準軌(1435mm)に変更された。

京浜120年の歩み





# 京急の豆知識

知ってウレシイ、京急のお話

京急120年の歩み

## 京急の豆知識

### 開業期 1899年～ 比較期 1914年 範を示さんと断然広軌！ 標準軌採用のバイオニア

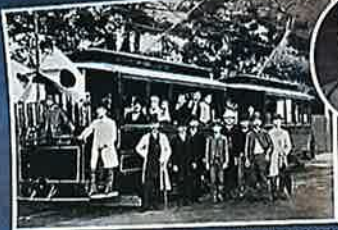
鉄道は日本の発展に大きく貢献してきました。開業当初はほとんどの日本の鉄道は軌間1,067mmの「狭軌」が一般的です。一方、金沢線の軌間は開業時から1,435mm。この軌間は、世界標準の軌間（広軌と呼ぶ）で、日本で初めて採用したのが金沢線の開業にあたり、大日本電報電話会社（後の電報電話公社）が、長岡線（現・長岡線）で、日本初の標準軌を採用したことで、京急も標準軌を採用することになりました。京急の標準軌採用は、開業時から115年たった今も、京急の誇りとして語り継がれています。



## 京急の

### 1918年～ 比較期 1919年 灯りを点けるもの 鉄道誕生前夜

電気鉄道の創設者である立川勇次郎が、ばるる藤岡市助を技術顧問として迎え、このこと。電気鉄道事業を始めるべく、立川を説いたとき、監督官庁の責任者は「電灯、電報、電報など聞いて許可でいい。電灯、電報を先に叩きつけたらいい。まだ、電灯を見たことのない時代。新たに電気鉄道を始めるのは、運命の連続だったのです。



1919年の京急120周年記念撮影会に出席したグループ写真

京急120年の歩み